

日本原子力学会 核燃料部会  
第39回 全体会議 議事録

日 時：平成 25 年 3 月 26 日 12:00～12:30

場 所：近畿大学東大阪キャンパス

出席者：約 20 名

[1]庶務幹事よりの報告

- ・高松庶務幹事より、資料を用いて、活動状況の報告、予算の説明、運営委員の紹介及び今後の活動計画の説明がなされた。これらに対して特に質問、意見はなかった。

1-1. 活動報告

- 1-1-1. 全体会議：・平成 24 年 9 月 20 日(木) 12:00～13:00 於、広島大学東広島キャンパス  
・平成 25 年 3 月 26 日(火) 12:00～13:00 於、近畿大学東大阪キャンパス

1-1-2. 運営小委員会：

例年であれば運営小委員会を年 5 回開催するが、今年度は夏期セミナー時の開催を時間的制約等の理由から見送ったことから、4 回の開催となっている。

- ・平成 24 年度 第 1 回 平成 24 年 5 月 29 日(火)
- ・平成 24 年度 第 2 回 平成 24 年 9 月 19 日(水)
- ・平成 24 年度 第 3 回 平成 24 年 12 月 4 日(火)
- ・平成 24 年度 第 4 回 平成 25 年 3 月 14 日(木)

1-1-3. 核燃料・夏期セミナー：第 2 回軽水炉燃料・材料・水化学夏期セミナー開催(核燃料・材料・水化学 3 部会共催)

- ・平成 24 年 7 月 11 日(火)～13 日(木)
- ・ 島根県松江市しんじ湖温泉「ホテル一畑」

1-1-4. 燃料高度化ロードマップ実行WG

- ・平成 22 年度：「燃料高度化技術戦略マップ 2008—2009」のローリングに着手
- ・平成 23,24 年度：平成 23 年度末で終了することにしていたが、東日本大震災の影響により WG 開催できず。  
→WG 活動を平成 25 年度まで 2 年間延長。
- ・平成 25 年度：活動継続

1-1-5. 「溶融事故における核燃料関連の課題検討」WG

- ・核燃料の専門家の視点から溶融事故における核燃料関連の課題について検討を実施。

- 第 1 回会合：平成 23 年 10 月 5 日(水)                      第 2 回会合：平成 23 年 11 月 4 日(金)
- 第 3 回会合：平成 24 年 2 月 20 日(月)                      第 4 回会合：平成 24 年 5 月 28 日(月)
- 第 5 回会合：平成 24 年 7 月 30 日(月)                      第 6 回会合：平成 24 年 10 月 15 日(月)
- 第 7 回会合：平成 24 年 12 月 3 日(月)                      第 8 回会合：平成 25 年 3 月 13 日(水)

→活動内容を核燃料部会ホームページにて公開。第 6 回以降の活動内容は今後掲載予定。

1-1-6. 「WRFPM2014」の準備

- ・平成 24 年 6 月 20 日：第 1 回組織委員会。仙台国際センターでの開催、今後のスケジュール、運営方法決定。  
9 月 2～6 日の Top Fuel 2012 @マンチェスターにて開催告示済、2013.9 の LWRFP2013 にて詳細紹介予定。
- ・実行委員会：第 1 回；平成 24 年 7 月 26 日、第 2 回；平成 24 年 9 月 28 日、第 3 回；平成 25 年 2 月 26 日  
DMC 選定／契約、参加者見込み、予算確認等、開催に向けた準備。

1-1-7. 学会事故調

核燃料部会より山中先生が参加。

1-1-8. 部会報 第 48-1 号(平成 24 年 12 月発行)

第 48-2 号(平成 25 年 5 月発行予定)

1-2. 平成 24 年度収支見通し及び平成 25 年度予算 —— 添付資料-1 御参照

- ・平成24年度の一般予算収支は、収入が306,395円、支出が271,080円で収支差額が35,315円となり、平成24年度末での繰越金は845,394円となった。また、夏期セミナーは3部会(核燃料、水化学、材料)合同で開催され、余剰金55,395円が核燃料部会の収入となった。燃料高度化ロードマップWGは震災の影響で開催されず、燃料高度化ロードマップWGのH24年度予算円はH25年度予算への繰越金となった。
- ・平成24年度の一般予算は、収入が269,000円、支出が269,000円で計画されており、平成25年度末での繰越金は845,394円になると予想される。

1-3. 運営小委員会

1-3-1. 第 38 回全体会議(平成 24 年 9 月 20 日)以降の運営小委員交代

(日本原子力研究開発機構) 更田 豊志 委員 → 永瀬 文久 委員  
 (東京電力) 太田 武 委員 → 大山 勝義 委員 → 巻上 毅司 委員  
 (日本原燃) 大江 晃 委員 → 池田 弘幸 委員

1-3-3. 平成 25 年度業務担当

担当	H25 年度担当者	
広報 部会報	[九州大] 橋爪委員 [関西電力] 真寄委員	
国際活動	安部田副部長	
国内企画(横断活動、年会時企画)	[福島高専] 佐藤委員、[NFD] 平井委員	
庶務幹事(財務含む)	[中部電力] 野田委員	
夏期セミナー幹事	[東北大] 佐藤委員、[原燃工] 松浦委員	
部会代表	部会等運営委員	安部田副部長
	評議員	岩田部会長、安部田副部長

【参考】部会員数 446 名 (H25 年 3 月 8 日現在)

1-4. 今後の活動計画

- (1) 部会報 : 第 49-1 号(平成 25 年 10 月発行予定)、  
第 49-2 号(平成 26 年 2~3 月頃発行予定)
- (2) 夏期セミナー : 平成 25 年 7 月 10 日(水)~12 日(金) 岐阜県下呂市 飛騨路下呂温泉 小川屋
- (3) 国際会議 : アジアジルコニウム会議(平成 25 年 10 月 15 日~19 日、於: 中国陝西省宝鶏市)  
LWR Fuel Performance Meeting(平成 25 年 9 月 15 日~19 日、於: 米国ノースカロライナ州シャーロット市)
- (4) 全体会議 : 平成 26 年春の年会時 (平成 26 年 3 月頃予定)
- (5) 運営小委員会 : 年 4 回開催予定(1 回目 平成 25 年 5 月頃予定)

[2]核燃料部会部会賞(奨励賞)表彰

・第1回核燃料部会部会賞(奨励賞)の授賞式を行い、受賞者から受賞の挨拶が行われた。

受賞者 : 坂本 寛 氏 (NFD: 燃料被覆管材料の水素吸収機構に関する研究)

### [3] 部会長挨拶

岩田部会長からHPIについて以下の話があり、部会員への協力依頼があった。

- ・ HPが化石化しており中身を拡充させ、部会の未来へ繋ぐ場としてHP上での展開を考えたい。
- ・ 核燃料部会の講義資料を載せてガイドンスとしたい。
- ・ 巻頭言は他の部会の中心人物へ核燃料部会への要望を出してもらうことで依頼をしている。将来は若手へのリレー式にしていきたいと考えている。
- ・ 息の続く限り走り続けて次の部会長へ繋ぎたいと思っているので、部会員の協力をお願いする。

以 上